

やまゆり通信 VOL.34

令和5年12月20日

天竜やまゆり保護者会
会長 曾根 担当 川井

平素は保護者会活動にご理解と協力を頂きありがとうございます。
今年も年の瀬が押し迫ってまいりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。
天竜病院付近の山々は紅葉のピークが終わりに近づいてきました。入所している子供達はお散歩時に紅葉を楽しんだことでしょうか。11月半ばより療育活動のミニイベントとして、「エプソンの夢水族館」が開催されていました。外出もままならぬ中、療育の方では試行錯誤しながら活動を行なって下さる事にありがたく存じます。

♪活動報告♪



- 9月9.10(土日) 全国重症心身障害児(者)を守る会全国大会
場所 広島リーガロイヤルホテル (曾根・川井) 2名参加
- 10月16日(日) 定例会開催 (天竜病院3階会議室13時～) 9名参加
出席者 岩本・福来・佐田・久保田・高岡・堀尾・川口・曾根・原・川井
- 11月18.19(土日) 全国重症心身障害児(者)を守る会東海北陸ブロック大会
場所 浜松 クラウンパレスホテル 15名参加
出席者 岩本・福来・佐田・田端・榊原・田中・高岡・堀尾・原田・鈴木・原・川口
曾根・川井・永田
- 11月26日(日) 静岡県三国病交流会 (静岡医療センターさくら病棟3階会議室)
出席者 佐田・久保田・原・曾根・川井 5名参加
- 12月8日(金) 天竜病院院長と面談、要望・意見書提出 (曾根・川井・佐藤)

～曾根会長より～ 報告

皆様こんにちは。今年も残すことあと僅かとなりました。後半はイベントが目白押しでした。守る会の全国大会・ブロック大会、静岡県下の国立病院機構3病院の保護者会と療育指導室長との交流・意見交換会、天竜病院院長との面談、どれも大変有意義な時間となりました。大まかではありますが、要点をお伝えします。

【守る会全国大会/広島】

4年ぶりの開催となり、参加者が大変多かった。国の方針は、「病院より地域へ」グループホームの新設等を増やし近くの地域への入所の推奨。療育等は望めずグループホームより日中活動を行なう通所に通う。いずれもマンパワー不足で十分とは言えない。個々の症状に合わせて検討は必要。メリットとしては面会等の制限がほとんどない。国立分科会へ参加した。どこの病院もコロナ禍より面会制限が厳しい。「虐待」についても言及。内部告発にて発覚するケースが多く、状況を踏まえて家族に病院から事実を報告し改善を導いている。決して隠さない。

【10月16日定例会】

全国大会の報告。保護会費の検討を行い、現況、月/1500円で決定。病院への要望、意見をとりまとめ、12月上旬に白井院長との面談希望をする。様々な意見や要望があり、報告させていただきました。

【守る会ブロック大会浜松】

参加者203名。天竜病院より藤森療育指導室長がシンポジストとして登壇しました。天竜病院の1.2病棟の療育や日中活動の紹介、防災災害対策、医療安全対策等、天竜病院の取り組みをお話しされました。シンポジストの方々のお話は、全て有意義な為になる事ばかりでした。特に、基調講演の 神奈川県横須賀の「ライフゆう」の施設長水口先生のお話は、コロナ禍面会制限は一切行わず自由に面会、生活の場をいつも通りにされていたそうです。施設の取り組みも入所者さん主体で、日々楽しく生き生きと暮らせる事をモットーにされているそうです。とても魅力的でした。

2日目、天竜病院白井院長、来賓として参列。

東海北陸ブロック6県の、在宅・施設・国立病院機構の保護者が集まり、それぞれの立場からのコロナ禍、そしてコロナ禍後の事情がよく理解できたと思います。親や子供の高齢化問題も今後増えてくる事でしょう。皆で意見・情報交換を共有しながら子供の生活の場をしっかりと守っていきたいと思います。2日間のブロック大会、大変有意義で勉強になりました。

【三国病交流会/静岡医療さくら病棟】

参加者 25 名 (隣席/天竜・藤森室長/静岡神経・島田室長/小林先生)

○さくら病棟/ 看護師長 伊藤ゆかりさん

患者数 57 名、通所・短期入所開始、保育士 6 名、児童指導員 2 名
保育士の人数が多い。患者さんの安全を第一と考え、療育と相談しながら生活を考えている。

○さくら病棟/ 主任児童指導員 戸田麻綾さん

看護師 44 名、リハビリ関係 6 名、面会 11 月 27 日より開始。
外出行事は 5～6 月に実施。その後はなし。コロナ禍前にすべて療育を戻すとは考えていない。高齢化・症状に合わせて安全安心を第一に行っている。

○静岡神経医療センター / 島田療育室長

406床(てんかんがほとんど) 重心160床 1病棟 40床が4病棟

☆(療育支援)☆

職員によるテラスでのウッドデッキコンサート・院内外出行事・・・カフェ、桃狩り
夏祭り・秋の味覚会・お楽しみバイキング給食・エアートランポリン等

☆(家族支援)☆

面会・直接面会実施・院内散歩可能

外出行事のみ 家族参加可 (院内行事は×) 外出行事は9月～再開

☆(在宅支援)☆

一般病棟・重症児病棟・通所 受け入れ
お風呂・・・ミストバス・ヘッドスパ を導入



～WITH コロナのこれから～

正しい方法の感染対策と日中活動の保障、難しい一面もあるが

福祉施設は生活の場でもある。

医療と福祉の共存、利用者一人一人の最善の利益とは何かを

考えながら療育に今後も望みます。

○天竜病院 /藤森療育指導室長

～コロナ前を忘れない～現実と向きあいながら

1病棟54床 2病棟54床 幼児から高齢者 100人以上

「いのち・生活・人生を支えている。」

面会・・・予約制15分間 院外外出活動・コンサート活動・・・中止

「散策活動」病室単位4名で実施

(ヤングケラー)が増加傾向にある。

*若者で介護する・学業や友人関係に影響する。小学校5.6年生・中高生

*勉強時間が取れない、睡眠が取れない、学校へ行けない等

☆ 短期入所で応援する。☆

～三病院の保護者の意見～

- ・ 感染対策の指針をはっきりだして統一してほしい。
- ・ 病院側の都合もあるが、あまりにもバラツキが多すぎる。
- ・ 日常を大切にするか、命を大切にするか、限られた命を優先させたい。
- ・ 感染しない体力を作るために、陽に当たる、身体を動かさせて欲しい。
- ・ 情報交換はとても大切。

【天竜病院白井院長との面談】 12月8日金曜日 14時半より

別紙を参照して下さい。

コロナが五類へと変わり、面会や制限がいつまでなのか、子供達の生活や療育が適切に行われているのかどうか、報告や情報が薄く心配や不信感の声があがってきている今日この頃です。白井院長にはその旨をしっかりとお伝えいたしました。

白井院長より、「少しずつですが必ずコロナ前に近づけるようしていきます。時間を下さい。」と、おっしゃって下さいました。

病棟では、スタッフのマンパワーが不足しています。その中を日々お世話して下さるスタッフに感謝の気持ちは私たち保護者は忘れてはいけないことです。

それがあっての、要望・意見です。個人では、言いづらいことも保護者会を通して直接、院長へと伝えられます。ご意見等がございましたら、保護者会の方へご連絡下さい。

～ご多忙の中を、お時間を頂戴した白井院長に感謝申し上げます。～

新年定例会のお知らせ

謹賀新年

日時 1月14日(日) 13時～

場所 天竜病院 3階 会議室
(病棟前エレベーターで3階へ)

～ ビンゴ大会 開催予定 ～

新年、皆さんお揃いでご参加下さい♡

お待ちしております。



役員は12時半集合でお願いいたします